あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース

飯山のロウバイ　（撮影：小林会員）

令和６年２月号 Vol. 238
（2024 年）

発行：令和６年２月６日

あつぎ観光ボランティアガイド協会
ホームページ　https://atugikanvola.sakura.ne.jp
メールアドレス　atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者　会長　田頭 文昭　　編集担当者　澤田 正弘

≪大山街道を歩く（厚木宿～愛甲宿）≫

行事区分：企画ガイド（歴史探訪）神奈川の歴史巡り『歴旅ツアー2023』
日　　時：１月 19 日（金）９：00～13：30
場　　所：本厚木～愛甲石田
参 加 者：一般 20 名、会員 10 名

今回は県観光課の“歴旅ツアー2023”の依頼企画ガイドです。
厚木宿から愛甲宿まで、江戸時代中期以降に盛んになった大山詣りの人が歩いた大山道（矢倉沢往還）を相模川渡船場から紹介しました。

冷え込みもなく、暖かなウォーク日和。リピーターのお客様も増え、集合時点から、和気あいあいムードです。地下道で文化財一般公開の震災の写真、発掘品を見て長福寺経由で相模川渡船場へ。いよいよ本題の厚木宿の説明開始です。渡辺崋山の游相日記を中心の説明ですが水運、街道が集まることで人の往来、物資集積の中心となり厚木の発展があったと授業のような内容で、質問も多く皆さん非常に熱心で納得していました。

厚木神社、烏山藩陣屋跡、溝呂木、高部屋家と厚木宿の雰囲気がわかって頂き、最勝寺、熊野神社と続きます。厚木六勝図に描かれている熊野神社は、市指定天然記念物の銀杏が立派です。きりんど橋付近、桐辺の堤の厚木六勝図はこのあたりから描いています。相模川土手では、皆さん一斉に声をあげました。富士山が見え、大山、三峰も。日本人はいつでも富士山が見えるか見えないかで騒ぎます！昔の人もこの景色を眺めながら、大山へうきうきと歩いたのでは？

伊豆三嶋大社から勧請の三島神社では烏山藩大久保氏の扁額。長徳寺は、普段は本堂に入れませんが、副住職のご説明、お茶も頂きました。彩色素晴らしい欄間はご本尊の方を向いた伝説の動

物達がいます。法雲寺そばの薬師堂の不動石造、道標は大山道を歩いている実感がある史跡です。新玉川付近の丹沢の山並みは絶景。宿愛甲はこじんまりしています。庚申塔、大山道標はかなり朽ちていますが、大山道の小さな主役達。今回は質問、会話多く、楽しんでくださった様子でした。次回参加約束のお客様も増え、活動が盛況になる期待が感じられました！　※5 ページに写真集を掲載しました　（石川 記）

≪新年会≫

行事区分：懇親推進
日　　時：1 月 21 日（日）13：00～15：00
場　　所：広沢寺温泉・玉翠楼
参 加 者：21 名

新型コロナのため 2020 年 1 月の開催から 4 年ぶりの新年会でした。本厚木から路線バスに乗り、会場となる広沢寺温泉の玉翠楼の玄関前に到着。午前中雨が降ったのでまず温かい温泉に入りました。新年会は田頭会長の挨拶、清田康夫監査役の乾杯で始まりました。料理は地元の名物料理のいのしし鍋でした。会員による日本酒、焼酎、果実酒やめずらしい「電気ブラン」と多種類で、飲み切れない程お酒の差し入れがありました。

参加者全員から簡単なスピーチをしていただきました。今個人でやっている活動の紹介や、今年の観ボラ活動への抱負など様々なお話しがありました。その後のクイズでは豪華？な景品が出るという事で、皆さま真剣に考えていました。例として「厚木市には六つの一級河川がありますが、その中で一番短い川の名前は？」などでした。次は恒例の全員合唱です。季節柄「スキー」「トロイカ」の 2 曲を皆で歌詞カードを見ながら元気よく歌いました。最後に山下潔副会長による閉会の挨拶があり、集合写真を撮りました。15:10 発の本厚木行のバスに乗りました。

今回の新年会は往復とも広沢寺温泉バス停発着のバスを利用できたので「らくちん」でした。みんなで和やかに懇親・交流する事で、会長の活動方針であるコミュニケーションとエンジョイが出来たと思います。雨の中参加された会員そして準備、運営された関係者の皆様ご苦労様でした。　（澤田 記）

≪訪問ガイド「八重水仙と恋する灯台の城ヶ島へようこそ！」≫

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）
日　　時：1 月 23 日（火）10：00～12：15
場　　所：城ヶ島バス停～見晴らし広場（水仙ロード）～城ヶ島公園～安房埼（あわさき）灯台～白秋記念館
参 加 者：会員３名

「みうらガイド協会」担当の訪問ガイド研修に参加しました。集合場所の城ヶ島バス停でバスを降りると大変な強風。風で飛ばされないように帽子をリックにしまう。着こんできたつもりでしたが、風で体温が奪われ、寒さが堪えました。参加者は２６名。岩礁歩きコースと水仙ロードを歩く２コースに分かれました。岩礁歩きコースは強風のため、現地の様子で実施を判断するとのことでした。あつぎ観ボラは水仙ロードのコースを 10 名ほどのグループで出発。みうらガイド協会の方が２人ついて案内してくださいました。

海岸に出ると青い荒海の上に富士がそびえ、海岸はいくつもの層が重なったように見える黒い岩。三崎層、初声層など地層について詳しく説明してくれましたが、風の音が大きくほとんど聞き取れませんでした。しかし、まさに絶景でした。次の海岸では地層のずれがはっきりわかる断層も見ることができました。

海岸を離れ、城ヶ島灯台へ。風は弱まり、説明も聞こえるようになりました。城ヶ島の灯台は、江戸時代狼煙台から始まり、その後松の木の篝火を燃やすようになり、その費用に船から金をとって充てたということです。明治５年に日本で５番目の洋式灯台となりましたが、関東大震災で崩壊し、現在の灯台は大正 14 年に再建されたものだそうです。

水仙ロードに入ると水仙はまだつぼみの状態で少し落胆しました。眼下に海蝕洞窟の馬の洞門を臨む見晴らし広場では２つの「＆」を組み合わせたモニュメントが。これは城ヶ島灯台と安房埼灯台が恋する灯台にちなみ、寄り添う「あなたとわたし」「城ヶ島灯台と安房埼灯台」の「と」の意味が込められているそうです。ウミウ展望台では、北国から越冬のため飛来したウミウが見られました。ここのウミウは長良川の鵜飼いでも活躍しているそうです。

城ヶ島公園に近づくと開花した八重水仙が多くみられ、さらに園内には多くの水仙が咲いていました。公園には丸い花壇がありましたが、これは戦前ここが東京湾要塞地帯として、砲台が据えられていた名残だそうです。

公園の展望台からは、伊豆大島、房総半島、伊豆半島、富士山、そして三浦市の最高峰で神奈川県で一番低い山、岩堂山（８６．８m）が望めました。展望台の前には青首大根をイメージした安房埼灯台が据えられていました。この灯台には近くの暗礁を照らす照射灯も装備されているそうです。この灯台の明かりは４秒に１度点灯しますが、城ヶ島灯台は１５秒に１回で、船は点灯の間隔でどこの灯台かわかるそうです。

11 時 50 分公園出口で解散のところですが、我々のグループはバスの時間（12 時 30 分）までに間があったので、白秋詩碑、白秋記念館に案内していただき、バスの時間まで過ごすことができました。

おみやげに水仙をいただき、心遣いに感謝する１日でした。　　（清田邦男 記）

≪神奈川県立博物館見学　２回目≫
行事区分：会員研修
日　　時：１月25日（木）10：00～14：30
場　　所：横浜市中区
参 加 者：会員４名

今回の研修は 神奈川県立歴史博物館へ行きました 。
案内をしてくれた会員が歴史に詳しいので楽しみにして現地に向かいました 。いつも県立歴史博物館に行く時は地下鉄の馬車道駅を使っています。今回は桜木町から歩きました。スタートの時パンフレットで横浜の運河に囲まれた町についてその成り立ちを聞きました。日本大通りを中心に左右で町の作りが違い、外国人の居留地の生い立ちなどもともといた人たちは元町に移動したと聞き、人に話したくなりました。目的地までの間には鉄道創業の地、日刊新聞発祥の地などをいろいろ見て、直接行くのとは違い勉強になりました。横浜の古い建物を赤い靴バスに乗って見たこともありますが今度はまた歩いてみたくなりました。
いよいよ歴史博物館に入り予習のために石器時代から令和までの年表 、源氏・平家の戦いの年表・地図、鎌倉仏教の系統など用意していただき、それを見て解説を聞きながら回ると何度も来たはずなのに同じ常設展示が全く違うものになりました。各々見ていたものが横に繋がっていく気がしました。あつぎ郷土博物館にあるもののレプリカなどもあり、次のガイドの時に話題に加えることができそうです。予定時間を大きく過ぎましたが 大変有意義な１日となりました。
この後建物の前のお店で昼食を取りました。この研修は 次回特別展を見に来る時に食事の場所を含めて良い準備ができたと思います。　（小林 記）

≪鐘ヶ嶽ハイキング＆六夜祭≫
行事区分：会員研修
日　　時：１月26日（金）９：20～14：30
場　　所：鐘ヶ嶽
参 加 者：会員４名

この日も前日に続き良い天気で風もなくハイキング日和でした 。
七沢を案内する時 お客様に遥拝所は鐘ヶ嶽の頂上に浅間神社があり、ここからそれを拝みますといつも説明をしています。 しかし私は今まで鐘ヶ嶽に登ったことはありませんでした。厚木のハイキングパンフレットにも勧めているコースなのでもっと登りやすいコースだと思っていました 。しかし 思いのほか道が狭く、枯葉で足元が滑り、根っこも多く尾根は本当に危険だ

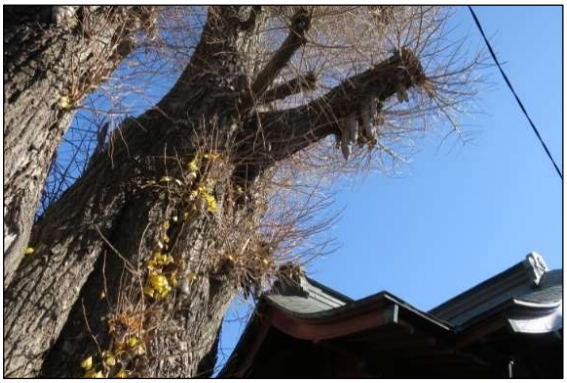
と思いました。途中には日向薬師へ続く道にある玉ねぎ石がたくさんあり、鐘ヶ嶽も同じ地層なのだなと感じました。二十八ある道標を確認しながら登りましたが途中からは長い石段があり昔の人がよくこの石段を作ったものだと感心しました。神社も大きく広場も立派で次のガイドでは自信を持って解説できそうです。 昼食後山の神隊道、石切場を経て広沢寺温泉まで帰ってきました。この後、疲れていましたが、今回の目的の一つの「六夜祭」会場に行きました。 会場の場所は白山からの巡礼道だそうです。このこともガイドの時使えそうです。想像と違い出店も出て学校が終わって子供たちが帰ってくると賑やかになりそうでした。この行事を行っている人たちが地元の温泉の人、お店の人などで地元の行事を大切に続けようとする気持ちがよく分かりました。今回はコース確認に加え、次のガイドに付け加える事が増えたハイキングでした。 （小林 記）

大山街道を歩く（厚木宿～愛甲宿）写真集

（撮影：編集担当）

厚木の渡し道標と渡辺崋山来遊碑

愛甲石田駅手前のわかれ道にある不動明王が載っていた道標、右：日向みち、左：大山みち



熊野神社境内にある銀杏の木に付いている乳状下垂

愛甲宿手前の旧玉川の跡、たびたび氾濫を起こした

最　近　の　活　動

日　付	場　所	内　容	参　加　者
１月　12 日	本厚木～愛甲石田	企画ガイド 下見「大山街道を歩く」 『歴旅ツアー2023』	会員　７名
１月　13 日	アミューあつぎ	定　例　会	会員　19 名
１月　15 日	小鮎公民館	創立 20 周年記念誌編集委員会＃15	会員　５名
１月　19 日	本厚木～愛甲石田	企画ガイド 「大山街道を歩く」 『歴旅ツアー2023』	会員　10 名
１月　21 日	広沢寺温泉・玉翠楼	新　年　会	会員　21 名
１月　23 日	三浦市	訪問ガイド研修「城ヶ島へようこそ」	会員　３名
１月　25 日	横浜市中区	神奈川県立歴史博物館見学　２回目	会員　４名
１月　26 日	鐘ヶ嶽	会員研修 「鐘ヶ嶽ハイキング&六夜祭」	会員　３名
１月　28 日	南公民館	創立 20 周年記念誌編集委員会＃16	会員　６名
２月　１日	相川公民館	編集会議	会員　３名

編 集 後 記

１月 19 日（金）に神奈川の歴史巡り『歴旅ツアー2023』大山街道を歩く（厚木宿～愛甲宿）の歴史探訪ガイドが無事に終了しました。本案件は「かながわガイド協議会」が、神奈川県観光課の企画した東海道など神奈川の道に係る観光コンテンツ等を活用したガイドツアーの実施要請を受けて、県内の各ボランティアガイド団体にて準備を進めてきたものです。当あつぎ観ボラは「大山街道(矢倉沢往還)」をルートに選び「企画ガイド」を実施しました。参加者募集は神奈川県の Web「観光かながわ NOW」と「あつぎ観ボラ HP」で行ないましたが、厚木市外（横浜市緑区、保土ヶ谷区など）からの応募もあり計 20 名の参加者となりました。江戸時代末期の厚木宿～愛甲宿に思いを馳せながら約 7Kmをガイドしました。参加された皆様お疲れ様でした。

編集委員　阿部 啓冊　小林 直樹　澤田 正弘